

復興事例集

～平成30年7月豪雨災害からの復興に向けて～

令和元年6月24日
(令和元年8月30日更新)

四国経済産業局
愛媛県

■はじめに

平成30年7月豪雨災害の発災から1年が経過しようとしています。愛媛県内を含め多くの地点で観測史上最大雨量を記録した未曾有の豪雨は、地域経済を支える事業者にも深刻な被害をもたらしました。

このため、被災事業者の復旧・復興に向けて、国や県・市町、商工団体、金融機関をはじめとする各支援機関では、被災直後より、様々な支援を展開してきました。四国経済産業局並びに愛媛県においても、『中小企業組合等共同施設等災害復旧費補助金（中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業）』（グループ補助金）や『被災地域販路開拓支援事業』（小規模事業者持続化補助金）などの各種支援施策を通じ、復旧・復興を後押ししてまいりました。

特に、愛媛県では大洲市・西予市・宇和島市に支援窓口となるサテライトオフィスを設置し、グループ補助金の活用に向けて、グループ組成や補助金申請について被災事業者に寄り添いつつ支援を進めています。

今般、こうした施策も活用しながら、復旧に努力され、復興へと着実に歩み始められた事業者の皆様の事例を順次御紹介する復興事例集を作成いたします。被災地の現状を理解する一助となり、また、復興に向けた取組のヒントとなれば幸いです。

復旧・復興は進展しつつありますが、一部地域においてはインフラ被害が大きく、未だ復旧の道半ばの事業者もおられます。四国経済産業局並びに愛媛県では、被災事業者の皆様が一步でも前へ進めるよう、被災地の復興に向けて、引き続き全力を尽くしてまいります。

最後になりましたが、本事例集の作成にご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

四国経済産業局 産業部 産業振興課 復興推進室
愛媛県 経済労働部 産業支援局 経営支援課

掲載事業者一覧

愛媛県

地図	市町村名	事業者名	業種	掲載ページ
①	大洲市	J A えひめ アイパックス株式会社	製造業	P.1
②	大洲市	有限会社福山製パン所	製造業	P.2
③	大洲市	神山運輸株式会社	運送業	P.3
④	西予市	スイーツ工房絹／進藤呉服店	小売業等	P.4
⑤	宇和島市	株式会社大見屋（しんばし吉田店）	小売業	P.5
⑥	大洲市	成長自動車株式会社	サービス業	P.6
⑦	西予市	株式会社宇和島海道	製造業	P.7

JAえひめアイパックス株式会社

～愛媛県内唯一の食肉センターとして、生産農家とお客様を安心・安全で結ぶ懸け橋となる～



工場浸水時



被災後の役員室



操業再開後の工場内

🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県大洲市春賀甲410番地
- 連絡先：0893-26-1211
- HP：<http://www.ai-pax.jp/>
- 事業内容：家畜の処理解体、食肉の製造・販売
- 代表者名：代表取締役社長 中原 一憲
- 企業のPRポイント：

当社は愛媛県内唯一の食肉センターです。
愛媛県内で年間40万頭豚が生産されますが、そのうち約半分を当社が処理・加工しています。
創業以来40年間、生産農家とお客様を安心して結ぶ懸け橋となり、皆様の食卓へ笑顔をお届けしています。

🕒 被災前後の状況

- 工場が床上1.5mまで浸水したことにより、工場の基幹設備である浄化槽、電気設備、冷凍機器類、食肉加工機器の他、多くの建屋が使用不可となりました。
- 県内唯一の食肉センターである当社が使用不能となったことから、本来当社で加工する豚を県外で加工しなければならない状況となり、生産農家や販売先に対して、影響が及びました。
- 従業員、専門業者の不眠不休の作業により、平成30年10月15日より通常操業となりました。

📌 活用した支援策他

- 復旧・復興にあたり、農林水産省の補助制度とグループ補助金のどちらを使うか検討をした結果、補助対象が広がったことからグループ補助金を活用しました。
- グループ補助金を活用し、工場内ほぼすべて施設を修繕、浄化槽や冷凍機をはじめ200点を超える設備等の修繕・入替を行いました。
- 被害額が甚大であったにも関わらず、グループ補助金を活用し、被災前の生産機能に早期復旧することができたことから、約200名の従業員が不安なく仕事を継続することができました。

👤 事業者からのメッセージ

- グループ補助金により、早期操業再開できたことで、休業期間中にご迷惑をお掛けした消費者の皆様ならびに取引先の方々にも、「愛媛県産の上質で安全・安心な牛肉・豚肉」を早々にお届けすることができています。
- 今後は各方面の専門家の意見を集約し、今回のような災害にも耐えうる強靱な工場システムづくりを進めてまいります。
- 今回の災害による施設の被害は甚大でありましたが、人的被害がゼロであったことは何よりでした。これを機に従業員が一つにまとまり、これまで以上に皆様から愛される会社になるように努めてまいります。



中原代表取締役社長

有限会社福山製パン所

～未来を担う子供たちの喜ぶ顔のために、早期復旧を～



被災後の工場内



復旧後の工場内と入替や修繕した設備



同社で作られ、子供たちに届けられるパン

↑ 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県大洲市東大洲986番地の1
- 連絡先：0893-25-4101
- 事業内容：学校給食用パン製造、配送及び米飯の供給
- 代表者名：代表取締役 福山 良二
- 企業のPRポイント：
約60年前に創業した和菓子と菓子パン製造・販売が原点です。
約50年前から学校給食用のパン等の提供をはじめ、現在では当社が立地する大洲市のみならず、愛媛県南予地域の約8割の小中学校にパンや米飯を供給しています。

🕒 被災前後の状況

- 床上2mまで浸水し、工場の床の基礎部分や壁などを修繕しなければならない状況となり、さらには、パン製造に必要なボイラーや機械装置、米の炊飯設備などが使用不能になりました。
- 給食を待つ子供たちのために早期復旧を目指し、修繕不可能な機械装置以外、可能な限り修繕で対応したことにより、平成30年8月に米飯供給を再開、パンについても9月中旬には再開できました。
- 令和元年度に入ってから、南予地域内で同業者の廃業もあり、平成30年度まで3市1町に供給していたところ、令和元年度はさらに2市町増え、4市2町に供給しています。

🏠 活用した支援策他

- 以前も水災を受けたことなどから、保険により施設は復旧できました。
- 機械装置については、保険をかけてなかったことから、グループ補助金を活用しました。早期復旧を目指すため、ボイラーやホイロ、炊飯機器については修繕で対応し、エアコンや冷蔵庫などは入替しました。
- 併せて、新商品開発と新たな販路開拓を目的に、小規模事業者持続化補助金を申請し、設備修理・新設備導入を行いました。

👤 事業者からのメッセージ

- 被災したことで「廃業」することも頭をよぎりましたが、学校で給食を楽しみに待つ子供たちのためにも、パンや米飯を届ける責任を感じ、事業を続けていくことを決意しました。
- 被災する以前から、『学校給食を食べている子供や先生はパン屋を選べない。そのため、安心、安全なパンを継続的に届けていきたい』と考えています。未来を担う子供たちの心身の健全な発達につながればと思っています。
- グループ補助金に係る共同事業において、『パン作り親子体験会』を実施することとなりました。以前から取り組みたいことであったため、楽しみにしています。



福山代表取締役

神山運輸株式会社

～「-30℃ FREEZING EXPRESS」 定温物流のスペシャリストを目指して～



被災時の写真



復旧後の写真



修繕・入替後の車両

🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：（白滝本社）愛媛県大洲市白滝甲222番地
（松山本部）愛媛県伊予郡松前町大字北川原字塩屋西2061
- 連絡先：089-984-2555（松山本部）
- HP：<http://www.kouyamaunyu.co.jp/>
- 事業内容：一般貨物自動車運送事業
- 代表者名：代表取締役 神山 吏
- 企業のPRポイント：
小口配送から物流のアウトソーシングまで、高度な品質管理とエクスプレスで、身近で役に立つ「お客さまの物流部門」としての信頼を築いています。

🕒 被災前後の状況

- 白滝本社事務所が床上60cmほど浸水。また、大洲地域の小売店配送用の車両が浸水被害を受けました。
- 天候を考慮し、酪農事業者の集配用タンクローリーは、前日に従業員の自宅等に避難させ被災を免れましたが、代わりに従業員の車両が事務所で被災したことから、従業員の自家用車両復旧費用の一部を会社で負担しました。
- 社長の判断により顧客の復旧を最優先。被災直後より顧客先を回り復旧支援に取り組みました。顧客の復旧作業に向け、貯水タンクを県内外より調達し、清掃に必要な雑用水の確保・配送を行いました。

🛠️ 活用した支援策他

- 当初は市補助金を想定していたが、長浜町商工会にご尽力いただきグループ補助金を活用しました。『長浜町商工会とポジティブな会員等のグループ』の構成員として、被災した車両の入替・修繕を行いました。パソコンやエアコンは被害を免れ、通信機能も無事であったことから、比較的早期に事務所機能を復旧出来ました。
- 今回の被災や台風被害を通じて、ハザードマップの重要性を再認識しました。

🗣️ 事業者からのメッセージ

- グループ補助金制度を早期に整備頂けたことにより、早期の復興に繋げることが出来、大変感謝しています。
- 災害時は避難するタイミングや被災後の対応等、経営者の判断が重要だと認識しました。
- 今回の被災や、その後の台風被害を踏まえ、自家発電装置を設置し、ハザードマップを社内で周知徹底する等、危機管理意識の向上に繋がりました。
- 南予地域の復旧は道半ばなので、顧客の復旧・復興について常に気にかけておきたいと感じています。



代表取締役 神山 吏

スイーツ工房 絹／進藤呉服店

～商店街に憩いの場を！まちに笑顔と元気を取り戻します～



被災時の写真



復旧後の写真



イベント風景



お店を守る進藤由紀子氏と御家族

🏠 企業の基礎情報／PRポイント

- 住所：愛媛県西予市野村町野村14-10
- 連絡先：0894-72-0333
- 事業内容：スイーツ工房絹：菓子製造販売等
進藤呉服店：呉服販売等
- 代表者名：進藤由紀子 進藤謙次郎
- 企業のPRポイント：
創業約50年の呉服店に、スイーツ店とカフェスペースを併設した、笑顔が集う「呉服屋カフェ」です。野村町を元気にしたいという思いから地元産のフルーツや野菜、乳製品などをふんだんに使用したスイーツを提供しています。

🕒 被災前後の状況

- 2mを超える浸水により店舗兼住宅および作業場、ケーキ工房が全壊、営業車両も浸水し使用不能となりました。
- 店舗内に泥が堆積。反物等の在庫も廃棄せざるを得ませんでした。が、被害を免れた着物をアクセサリに加工し、「被災を免れたキーホルダー」として店舗再開前より販売。被災後は着物の染み抜き等で新たな顧客も獲得しています。
- SNSを通じた支援や災害ボランティアの協力により、被災5ヶ月後の平成30年12月16日より営業再開できました。

🌟 活用した支援策他

- 認定グループである『がんばろう西予！復興プロジェクト』の構成員として、グループ補助金を活用し、店舗兼住宅・作業場の修繕や、車両入替を行いました。
- 店舗修繕に合わせ、小規模事業者持続化補助金や、クラウドファンディングを活用し、店舗内に新たにカフェスペースを整備。ワークショップやイベント等を開催することで、地域コミュニティの魅力向上に貢献しています。
- 被災状況や復興への取り組みを、SNSを通じて情報発信したことや、クラウドファンディングの取り組みを通じて店舗のファンが増加。全国から応援・協力を得られることが出来ました。

👤 事業者からのメッセージ

- 被災した直後は今後どうなるのか不安でしたが、グループ補助金を活用することで、早期復旧に繋がりました。
- グループ補助金やクラウドファンディングなど、資金調達は様々な方法で可能です。商店街の憩いの場を提供し、まちに笑顔と元気を取り戻すために復興に取り組んでまいります。



スイーツ工房絹
代表者 進藤由紀子 4

株式会社大見屋 しんばし吉田店

～今までも、これからも地域の人たちと家族のようなお店を目指して～



被災後の店内の様子



再開後、いつも通り買い物をするお客様



令和元年5月から「がんばってます吉田！」とキャンペーンを実施



🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：(しんばし吉田店) 愛媛県宇和島市吉田町東小路69-3
(本社) 愛媛県宇和島市新町1丁目4番6号
- 連絡先：0895-52-0162 (しんばし吉田店)
- HP：http://shinbashi.co.jp/index.html
- 事業内容：総合小売業
- 代表者名：代表取締役社長 谷本 正博
- 企業のPRポイント：

宇和島で創業し60周年。吉田店自体は昭和38年に開業。地元に根付いた商売ということで、商品も、従業員もなるべく地元で確保。普段着で足を運べる、地域の人たちと家族のような、その地域になくてはならないお店を目指しています。

🕒 被災前後の状況

- 商店街の中に立地し、被災前は約800人／日のお客様が来店し、その大半が60歳以上という地域に必要とされるお店でした。
- 床上約1mまで浸水したため、商品は廃棄せざるを得ず、また、冷蔵ショーケースなどは使用不可、さらに床には泥が堆積した状態。
- 廃棄予定の商品のうち、缶詰等密閉されているものについては、自己責任という形で持ち帰っていただきました。
- 被災後、吉田地区を離れる人がいたこともあり、再開直後は被災前の85%程度であった客数が、令和元年5月には約98%まで回復。

👉 活用した支援策他

- 店を閉めるという気は全くなく、一刻も早く、自力での再建を果たしたところ、グループ補助金があることを知り、申請しました。
- この街中でまさか水災にあうとは思わず、保険には入っていませんでした。
- 早期の再開のため、修理可能な機械設備等については自前で修理しましたが、施設の修繕のほか冷凍ケースやレジの入替などにおいてグループ補助金を活用し、金銭面では非常に助かりました。

👤 事業者からのメッセージ

- 閉店中、お客様から「私たちどこに買い物行ったらいいの」と言われたこともあり、困り果てる地域のお客様のために、他店から応援部隊を呼ぶなどして、被災から1か月後の8月8日に営業再開しました。
- 他の地域の人はもちろん、旧宇和島市内においても、吉田地区がこれだけの被害を受けたこと、さらには復旧・復興にはまだまだという状況が知られていません。
- そのため、当社としては令和元年5月より「がんばってます吉田！」という独自のキャンペーンを実施し、地元を応援するとともに、多くの人に知ってもらおうと活動しています。



谷本代表取締役

成長自動車株式会社

～地域密着・顧客第一の自動車整備で地域の安心・安全を支えて～



事務所・工場の浸水被害状況



復旧後の工場内と修繕した設備

🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県大洲市東大洲1041番地1
- 連絡先：0893-25-3123
- 事業内容：自動車整備・販売業
- 代表者名：代表取締役 沖村 忠
- 企業のPRポイント：
平成3年設立。自動車整備・販売を行っています。大洲地域では数少ない大型車両の車検整備も対応可能で、一般車両から事業用車両まで幅広いニーズにお応えします。

🕒 被災前後の状況

- 事務所と整備工場が床上80cmまで浸水し、事務所内の壁・床・収納機器等の全面撤去・修繕が必要となりました。
- 当日は朝早くから顧客の車両をレッカー車で牽引し避難させていました。一段落した昼ぐらいから工場内まで水が来たので、動かせる車両はリフトに避難させたものの、故障で動かない車両や工場内の検査機器、フォークリフト等は浸水被害を受けました。
- 被災翌日より営業を再開しましたが、自社の検査機器が被災していたので、暫くは松山の運輸支局まで顧客から預かった車両を持ち込み、車検対応を行いました。また、可能な限り代車を準備する等、地域の方々の事業復旧・生活復旧に貢献しました。

🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金を活用し、事務所・工場の施設復旧を行った他、工場内の車検用検査機器や、クレーン・フォークリフト等の作業用設備の修繕・入替を行いました。
- 設備類についてはグループ補助金を活用して修繕等を行ったほか、故障していない手持ち工具類は洗浄して使用できるようにしました。

👤 事業者からのメッセージ

- 会社設立後、過去2回の水害では被害を免れたことから、自社は大丈夫と安心していたところもありました。今回の被災を受け、いざというときに備えることの重要性を改めて認識させられました。
- 大洲地域で大型車両の車検対応が可能な事業者が少ない中、得意分野を活かし、地域に根ざした事業に取り組んでいきます。
- 過疎化や高齢化が進む大洲地域において、車は生活必需品であり、重要なライフラインのひとつと言えます。当社は、自動車整備を通じて地域の復旧・復興とともに安心・安全に寄与して参りたいと思います。



沖村代表取締役

株式会社宇和島海道

～養殖魚の高付加価値化による6次産業化に取り組む～



加工場の土砂浸入被害状況



復旧後の加工場と修繕した設備

事業所外観

↑ 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県西予市明浜町渡江26番地6
- 連絡先：0894-89-3120
- 事業内容：水産加工業
- 代表者名：代表取締役 玉留 一
- 企業のPRポイント：
(株)ダイニチ、(株)オンスイ、三井物産(株)の共同出資により平成27年設立。(株)オンスイが有する独自の特殊冷凍加工技術である「超冷凍薫加工」により長期間の鮮度保持を可能とし、お客様のニーズに対応した加工を行っています。

🕒 被災前後の状況

- 会社に隣接した山の斜面が崩壊し、土砂が浸入。空調設備、冷凍機の室外機やポンプ類、荷物用リフト等が被害を受けました。
- 加工場内にも土砂が浸入し、加工台などの室内設備も浸水しました。土砂撤去については社員の人海戦術で対応しました。
- 修繕を完了し、衛生管理体制を整えて製品供給を回復するまで1ヶ月程度かかりましたが、販売先等の協力もあり、顧客への影響は最小限に抑えられました。

🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金は、土砂浸入により修繕が必要となった荷物用リフトの電装部品の修繕に活用しました。
- 平成28年に操業開始した比較的新しい加工場で、操業当初から幅広く場内施設、設備には保険をかけていました。このため、土砂浸入により被害を受けた建屋や加工用機械設備は、保険による補償で復旧することが出来ました。

👤 事業者からのメッセージ

- 全く想定していなかった土砂災害でしたが、幸いにも大きな被害は無く、1ヶ月程度の操業停止で済んで良かったと考えています。
- 地震や津波、停電等を想定した緊急マニュアルは整備していたものの、土砂災害への備えはありませんでした。今回の被災を受け、緊急マニュアルを見直したいと思います。
- 行政機関をはじめ関係各所からのご支援に感謝し、今後も頑張って運営して参ります。



下田品質管理室長